



2026年4月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年6月15日

上場会社名 株式会社T O ブックス 上場取引所 東
 コード番号 500A URL https://www.tobooks.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 本田 武市
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 鳥海 裕喜 (TEL) 03(6452)5765
 定時株主総会開催予定日 2026年7月29日 配当支払開始予定日 2026年7月30日
 有価証券報告書提出予定日 2026年7月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年4月期の業績 (2025年5月1日~2026年4月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年4月期	11,795	25.1	1,984	72.7	1,954	70.6	1,310	69.0
2025年4月期	9,426	7.9	1,149	△26.8	1,145	△27.1	775	△25.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年4月期	422.09	377.61	22.7	23.5	16.8
2025年4月期	258.47	—	19.9	19.1	12.2

(参考) 持分法投資損益 2026年4月期 ー百万円 2025年4月期 ー百万円

(注) 1. 2025年4月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

2. 当社は、2026年2月13日に東京証券取引所スタンダード市場に上場したため、当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から当事業年度末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年4月期	10,441	7,273	69.6	2,067.77
2025年4月期	6,160	4,261	69.1	1,419.78

(参考) 自己資本 2026年4月期 7,271百万円 2025年4月期 4,259百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年4月期	1,766	△277	1,610	4,363
2025年4月期	309	△613	△143	1,264

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年4月期	—	0.00	—	23.00	23.00	69	8.9	1.8
2026年4月期	—	0.00	—	76.00	76.00	267	18.0	4.4
2027年4月期(予想)	—	0.00	—	76.00	76.00		20.6	

3. 2027年4月期の業績予想（2026年5月1日～2027年4月30日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	12,500	6.0	1,900	△4.3	1,900	△2.8	1,300	△0.8	369.70

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

（2）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年4月期	3,516,400株	2025年4月期	3,000,000株
② 期末自己株式数	2026年4月期	一株	2025年4月期	一株
③ 期中平均株式数	2026年4月期	3,104,620株	2025年4月期	3,000,000株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

経営成績の概況

当社は、“もっと物語を届ける——。”という経営理念のもと、小説・コミックスを起点としたIPの創出と、アニメ・舞台・グッズ等へのメディアミックス展開を一貫して行う体制を強みに事業を展開してまいりました。

出版市場におきましては、紙の出版が縮小する一方で電子出版が拡大しており、公益社団法人全国出版協会・出版科学研究所によると、2025年（1月～12月）の電子出版市場は前年比2.7%増の5,815億円となりました。こうした市場構造の変化は、当社の主力であるライトノベル・コミックス分野にもプラスに作用しております。

このような事業環境のもと、当社ではIPの「紡ぐ」機能（企画・編集・書籍化）と「届ける」機能（アニメ化・舞台化・商品化等）を連動させ、アニメ化タイトルを中心に書籍・コミックスの販売が堅調に推移しました。2025年夏クールに放映したTVアニメ『水属性の魔法使い』は、主要動画配信プラットフォーム12サイトでランキング1位（注）を獲得するなど、大きな反響がありました。2026年は年初よりTVアニメ『穏やか貴族の休暇のすすめ。』の放映を皮切りに、4月からTVアニメ『本好きの下剋上～司書になるためには手段を選んでいられません～ 領主の養女』の放映が開始されております。過去のアニメ化作品と同様に、原作書籍やコミックスの販売増加に寄与しております。

結果として、当事業年度の売上高は11,795,979千円、営業利益は1,984,672千円、経常利益は1,954,068千円、当期純利益は1,310,417千円となりました。

なお、当社はIP創出・展開事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

（注）：当社調べ。各配信サービスにおいて、デイリー又はウィークリーベースで1位を記録した“話”単位の実績を集計

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当事業年度末の総資産は、前事業年度末と比べて4,281,352千円増加し、10,441,993千円となりました。

流動資産は、現金及び預金が3,289,691千円、売掛金が922,712千円増加したこと等により、前事業年度末に比べて4,422,706千円増加し、9,434,836千円となりました。

固定資産は、有形固定資産が59,282千円、敷金及び保証金が131,714千円減少したこと等により、前事業年度末から141,353千円減少し、1,007,156千円となりました。

（負債）

当事業年度末の負債は、前事業年度末と比べて1,269,753千円増加し、3,168,401千円となりました。

流動負債は、未払法人税等が604,730千円、契約負債が405,617千円増加したこと等により、前事業年度末と比べて1,329,753千円増加し、3,168,401千円となりました。

（純資産）

当事業年度末の純資産は、前事業年度末と比べて3,011,598千円増加し、7,273,591千円となりました。これは主に当期純利益1,310,417千円、新株の発行による資本金の増加885,178千円及び資本剰余金の増加885,178千円によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ3,099,691千円増加し、4,363,794千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは1,766,767千円の収入となりました。主な要因は、税引前当期純利益の計上により1,938,734千円、契約負債の増加により405,617千円の収入があった一方、売上債権の増加により920,102千円、前渡金の増加により256,347千円の支出があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは277,287千円の支出となりました。主な要因は、定期預金の払戻しにより1,150,000千円、敷金及び保証金の回収により113,785千円の収入があった一方、定期預金の預入れにより

1,340,000千円、有形固定資産の取得により183,651千円の支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1,610,211千円の収入となりました。主な要因は、株式の発行により1,770,181千円の収入があった一方、社債の償還により90,000千円、配当金の支払により69,000千円の支出があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

当社では、継続的なIP創出及び育成に取り組んでまいりました。その結果、刊行タイトル数は着実に積み上がっており、既存IPの販売伸長とあわせて継続的な収益基盤の拡大が進んでおります。

2027年4月期においても、刊行タイトル数の積み上がりによる収益基盤の拡大に加え、新規IPの創出及び既存IPの育成を推進してまいります。また、TVアニメ化、舞台化、商品化等のメディアミックス展開を通じてIP価値の最大化を図るとともに、ユーザーとの接点拡大に取り組んでまいります。

2026年4月より放送を開始したTVアニメ『本好きの下剋上～司書になるためには手段を選んでいられません～ 領主の養女』をはじめ、多くの作品についてアニメ化企画が進行しております。また、2026年8月にはミュージカル『本好きの下剋上～司書になるためには手段を選んでいられません～2026』の再演を予定しており、リアルイベント領域における収益拡大と更なる認知度向上を図ってまいります。

さらに、本年3月には新レーベルである「Celica」を創刊いたしました。既存レーベルの成長に加え、新たなユーザーの獲得及び新規IPの創出を進めることで、中長期的な事業成長につなげてまいります。

この結果、2027年4月期の業績見通しにつきましては、売上高は12,500百万円（前期比6.0%増）、営業利益は1,900百万円（同4.3%減）、経常利益は1,900百万円（同2.8%減）、当期純利益は1,300百万円（同0.8%減）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、今後のIFRS（国際会計基準）の適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年4月30日)	当事業年度 (2026年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,374,103	5,663,794
受取手形	21,440	18,830
売掛金	1,532,781	2,455,493
商品及び製品	418,584	374,023
仕掛品	90,415	72,162
前渡金	397,973	654,320
前払費用	51,388	73,776
その他	125,445	122,436
流動資産合計	5,012,130	9,434,836
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	285,783	254,839
構築物（純額）	705	599
機械及び装置（純額）	65	32
工具、器具及び備品（純額）	89,115	60,915
土地	61,900	61,900
有形固定資産合計	437,569	378,286
無形固定資産		
ソフトウェア	47,804	26,489
その他	1,216	8,316
無形固定資産合計	49,021	34,805
投資その他の資産		
出資金	5,000	5,000
長期前払費用	2,823	950
繰延税金資産	90,700	147,326
関係会社株式	—	9,106
敷金及び保証金	563,395	431,680
投資その他の資産合計	661,919	594,064
固定資産合計	1,148,510	1,007,156
資産合計	6,160,640	10,441,993

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年4月30日)	当事業年度 (2026年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	684,621	841,251
短期借入金	100,000	100,000
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	970	—
未払金	425,078	429,228
未払法人税等	9,222	613,952
契約負債	172,591	578,208
預り金	152,843	90,480
賞与引当金	30,075	25,340
役員賞与引当金	—	11,925
その他	203,245	418,014
流動負債合計	1,838,648	3,168,401
固定負債		
社債	60,000	—
固定負債合計	60,000	—
負債合計	1,898,648	3,168,401
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,000	894,178
資本剰余金		
資本準備金	6,000	891,178
資本剰余金合計	6,000	891,178
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	4,244,337	5,485,755
利益剰余金合計	4,244,337	5,485,755
株主資本合計	4,259,337	7,271,111
新株予約権	2,655	2,479
純資産合計	4,261,992	7,273,591
負債純資産合計	6,160,640	10,441,993

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)	当事業年度 (自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)
売上高	9,426,601	11,795,979
売上原価	2,958,510	3,274,107
売上総利益	6,468,091	8,521,871
販売費及び一般管理費	5,318,627	6,537,198
営業利益	1,149,464	1,984,672
営業外収益		
受取利息	898	4,556
助成金収入	841	696
為替差益	—	1,883
その他	142	903
営業外収益合計	1,882	8,039
営業外費用		
株式公開費用	3,282	36,286
為替差損	1,437	—
その他	1,411	2,357
営業外費用合計	6,132	38,644
経常利益	1,145,214	1,954,068
特別損失		
本社移転費用	104,084	15,333
特別損失合計	104,084	15,333
税引前当期純利益	1,041,129	1,938,734
法人税、住民税及び事業税	238,509	684,943
法人税等調整額	27,202	△56,626
法人税等合計	265,711	628,316
当期純利益	775,418	1,310,417

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)

(単位：千円)

	株主資本						新株予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計		
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他 利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計			
当期首残高	9,000	6,000	6,000	3,537,918	3,537,918	3,552,918	2,655	3,555,573
当期変動額								
新株の発行								
新株の発行(新株予約 権の行使)								
剰余金の配当				△69,000	△69,000	△69,000		△69,000
当期純利益				775,418	775,418	775,418		775,418
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	—	706,418	706,418	706,418	—	706,418
当期末残高	9,000	6,000	6,000	4,244,337	4,244,337	4,259,337	2,655	4,261,992

当事業年度(自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)

(単位：千円)

	株主資本						新株予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計		
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他 利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計			
当期首残高	9,000	6,000	6,000	4,244,337	4,244,337	4,259,337	2,655	4,261,992
当期変動額								
新株の発行	875,378	875,378	875,378			1,750,757		1,750,757
新株の発行(新株予約 権の行使)	9,799	9,799	9,799			19,599		19,599
剰余金の配当				△69,000	△69,000	△69,000		△69,000
当期純利益				1,310,417	1,310,417	1,310,417		1,310,417
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	△175	△175
当期変動額合計	885,178	885,178	885,178	1,241,417	1,241,417	3,011,773	△175	3,011,598
当期末残高	894,178	891,178	891,178	5,485,755	5,485,755	7,271,111	2,479	7,273,591

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)	当事業年度 (自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,041,129	1,938,734
減価償却費	47,151	94,861
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,031	△4,735
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	11,925
受取利息及び受取配当金	△923	△4,581
支払利息	1,394	1,389
売上債権の増減額 (△は増加)	43,891	△920,102
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△26,851	62,813
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,260	156,629
未払金の増減額 (△は減少)	90,105	223,243
前渡金の増減額 (△は増加)	△66,907	△256,347
契約負債の増減額 (△は減少)	△232,478	405,617
預り金の増減額 (△は減少)	41,158	△62,362
未払消費税等の増減額 (△は減少)	—	165,150
その他	△74,611	55,190
小計	859,287	1,867,427
利息及び配当金の受取額	923	4,581
利息の支払額	△1,490	△1,614
法人税等の支払額	△549,571	△128,476
法人税等の還付額	—	24,850
営業活動によるキャッシュ・フロー	309,148	1,766,767
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,140,000	△1,340,000
定期預金の払戻による収入	1,130,000	1,150,000
有形固定資産の取得による支出	△166,099	△183,651
無形固定資産の取得による支出	△28,985	△8,316
関係会社株式の取得による支出	—	△9,106
敷金及び保証金の差入による支出	△408,487	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	113,785
投資活動によるキャッシュ・フロー	△613,571	△277,287
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△100,000	△100,000
長期借入金の返済による支出	△14,040	△970
社債の償還による支出	△60,000	△90,000
株式の発行による収入	—	1,750,757
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	19,423
配当金の支払額	△69,000	△69,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△143,040	1,610,211
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△447,462	3,099,691
現金及び現金同等物の期首残高	1,711,565	1,264,103
現金及び現金同等物の期末残高	1,264,103	4,363,794

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社の事業セグメントは、IP創出・展開事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)	当事業年度 (自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)
1株当たり純資産額	1,419.78円	2,067.77円
1株当たり当期純利益	258.47円	422.09円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	377.61円

- (注) 1. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新株予約権の残高がありますが、当社株式は非上場であったため期中平均株価を把握できませんので、記載しておりません。
2. 当社は、2026年2月13日に東京証券取引所スタンダード市場に上場したため、当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から当事業年度末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
3. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)	当事業年度 (自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	775,418	1,310,417
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	775,418	1,310,417
普通株式の期中平均株式数(株)	3,000,000	3,104,620
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	365,695
(うち新株予約権(株))	(—)	(365,695)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	新株予約権1種類(新株予約権の数450,000個)	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。